

浅草岳

三月二十八日 (水)

晴

馬場

朝食後車でゆかり実家を出発した。黒谷の部落までくると浅草岳が真白に見えた。

入吐津の部落まで来ると降雪されなくて一メートル位雪が残っていた。ここに車を駐車する。

入吐津川の左の国道を登行して登山口に着く。暑いので下着一枚になって登る。途中沢が出ていたのでスキーをぬいで左岸に渡る。沢の水で顔を洗うとすっきりする。

何人か一歩足で登った足跡が降った雪をかぶって残っていた。キックタンを解き尾根上に出る。ここからいくつか沢をトラバースして山の神の杉に着き休憩する。

ここから右に沼を通る登山道と尾根を通るコースに別れている。

クートを着けて左の尾根の急斜面を山回りキックタンで高度を上げる。時々小雪崩が出ていてテグツリになっていた。

新しく購入したフレッチャライトのクートが雪面にききって気持ちはよい。大汗を流して尾根近くまで登った時カモシカの新しい足跡が有った。少し登るとこちらを振り向いた。カモシカを驚かせないように広い尾根上におた。

その尾根をしばらく進み雪庇が左の入吐津側に大きく張り出しているやせ尾根を通る。新雪にうまった雪庇に片足を踏み外すとひやりとさせられた。雪庇に近すかないうように右寄り登行しやせ尾根を通りブナの斜面にある。しばらく広い斜面を登行する。出発が遅かったので十三時になったら降ることにして更に登行を続けた。

林の間から頂上からの広い雪原が現れた。三十分位いて頂上に立てると思えば嬉しくなり休まず直登を続けた。ヘリコプターが一機飛んできて旋回して立ち去って行った。たった一人で広大な斜面を登るのは、実に爽快感だ。一時四十分七回目の頂上に立った。

三百六十度の展望が実にすばらしい。南に、鬼ヶ面山の岩場をいかに、今津の山々、越後三山遠くに越ヶ岳、西に守門岳、北に今津の山々、東はるか下には今津の部落が見渡せ、真下に田子倉湖が静かに横たわっていた。

一時五十分広大な斜面を思ひ思ひはバラレルで滑りあつという間、フナ林の中を滑りこむ。フナ林を滑り雪庇のせせ尾根を慎重に通過した。広い尾根を通り心配していた急斜面もあつという間、越ヶ山の神の杉で休憩する。

あとは、園道まで気温が高くなり滑り辛い斜面を慎重に通過した。駐車場までは、後の降りをカンガハの後を外して滑った。

山行で一回も登山者に会わなかったのも珍しい。今津側から登る人は、交通の便も悪いので非常に少ないようだ。

入吐津 9:00 — 登山口 9:00 — 山の神の杉 10:30 ~ 10:40
 広い尾根 11:30 — 雪庇 12:00 — 森林限界 13:00 — 頂上 13:50 ~ 14:50
 山の神の杉 14:00 ~ 入吐津 16:00

